

## 地域道を町道に

## 大変難しい状況



もり森 治史 議員

県道は急峻な所を拡張しており、いつ崩壊があるか分からない。もし通行不能になった場合は迂回路にもなる。

地域整備事業の中で5〜6年で完成できる計画を組み、地域と協議を進めていく検討をすべきではないか。

況である。

そのような中で中間地点の道横の農地を提供して頂くとか、そういうところも地域と協議を進めながら地域整備事業を進めていくかどうかを検討していきたい。

## 町道計画

町道本村線の

完成は

年度末までに

完成予定

## 答 松田副町長

同路線の避難路整備工事は平成28年6月議会で新規の町道認定の議決があり、既に調査、測量設計を行い、一部で用地買収を完了している。予定では8月の工事発注に向け、関係者との用地交渉を継続しており、概ね計画通り進んでいると認識している。

また、耐震性防火水槽の設

置、水道本管新設についても本工事に伴う道路掘削時に併せて埋設等を予定している。なお、工事間の調整を図る必要があるが、国の予算配分も平成29年度に頂いており、地域住民の安心、安全を図るために年度末までの早い時期に工事が完成するように取り組んでいく。

問 御坊畑地区の県道大方岡本線を左折し、保木橋から集会所の間は町道御坊畑駄馬線になる。それにつながる地域道を拡幅し、北側のサムガリ橋との間を町道へ認定してほしいとの住民の強い要望がある。県道拡幅工事が始まる以前から区長は町へ地区要望として挙げており、山の側面の持ち主にも了解を取り付けている。地域が求め、協力体制にある区域の方が優先順位は高い位置づけになると思う。

保木橋とサムガリ橋までの

## 答 金子まちづくり課長

町道から先の道路は延長260mで幅員1・6m〜2mのコンクリート舗装で、軽自動車までが通行できる地域道と認識している。

町道の整備は社会資本整備総合交付金事業で町内の改良工事を実施して、各地区からの道路改良事業の要望も多数ある中で、今後の道路改良、舗装、橋梁修繕工事等の整備計画を立てており、町道に認定し、事業計画に入れることは現在のところ大変難しい状況

問 以前、JAはた佐賀支所から佐賀郵便局までの町道本村線の質問をした。町の答弁は、近隣避難道へと連結する道として平成28年〜29年の2年間で整備を行う計画で、平成29年度上半期に工事の発注予定であった。計画通りに進んでいるのか、近くの高齢者の方々が待っている。

また、この計画の中で水道管工事と防火水槽の工事もあるとの話を聞いたが、今回の町道工事予定と一緒に年度末までに完成するのか。



保木橋～サムガリ橋にかけての地域道の拡張を